

# 平成24年度 事業計画書

公益財団法人として事業スタートの元年であり、運営基盤をより充実し、献眼者の増加につなげる年度にしたい。

一昨年7月に施行された臓器移植法改正の効果もあり、献眼についての関心度も幾分高まってきたように思われる。献眼登録の件数は以前に比べ、やや低下傾向にあるものの、各ライオンズクラブの協力を得て、一定水準を維持している。

一方、献眼者数は低調であり、愛媛県内で移植待ちの患者(レシピエント)の治療を賄うには依然として不足している。献眼者数増加をはかる為の広報活動の充実また、事務局、コーディネーター活動体制をさらに強化する必要がある。

このために下記の事項を本年度の事業計画として実施するものとする。

## 1. 献眼者の増加をはかるための活動

- ①主要病院の院内コーディネーターおよび医師との深耕をはかるため、訪問頻度を向上させる。
- ②主要病院において献眼申し出時の対応について理解を深めていただくため「献眼マニュアル」を作成送付する。
- ③愛媛県臓器移植支援センターとの協力関係を維持促進する。
- ④献眼者家族へのケアを最大限に行う。

## 2. 献眼についての理解を深めていただくための活動

- ①年1回発刊している「愛媛アイバンクだより」を親しみやすく読みやすい企画にする。
- ②「献眼」について、多くの方に理解をいただくよう「講演会」「説明会」の開催を積極的に行う。
- ③公共施設等に「愛媛アイバンクだより」「献眼登録リーフレット」の設置を積極的に依頼する。

## 3. 運営基盤の強化

- ①財政基盤の整備のために、新規賛助会員の開拓と賛助会費未納付者の減少対策を実施する。
- ②募金箱の設置依頼を積極的に行う。
- ③献眼時コーディネーターの対応をより円滑にするため、積極的にセミナー等に参加する。